

## 令和4年度第1回 旧国立駅舎運営連絡会議事録（要旨）

日 時：令和4年4月28日（木）19時00分～21時00分

場 所：国立市役所3階 第1、第2会議室

出席委員：磯部委員、磯前委員、落合委員、木村委員、鈴木委員、中村委員、藤本委員、  
宮崎委員、

欠席委員：秋田委員、佐藤委員、藤田委員、洪委員

事務局：都市整備部 北村部長

国立駅周辺整備課 関野課長、外立係長、菱沼主査、藤堂主任、後藤主任

○鈴木会長 定刻を過ぎましたので始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

令和4年度第1回の旧国立駅舎運営連絡会ということで、また今年度はよろしくお願いいたします。そして、初めから徐々に進みますが、最初に北村さんからご挨拶くださるということでいいですか。都市整備部長が前の門倉さんから交代になったということでご挨拶いただきます。よろしくお願いいたします。

～都市整備部北村部長より挨拶～

○鈴木会長 それでは早速、議事を進めてまいります。今日、最初は旧国立駅舎運営状況についてということで、菱沼さんからご報告をお願いいたします。今日はプレゼンのスクリーンがないので、この資料1というのを御覧ください。よろしくお願いいたします。

○事務局 10回目となる旧国立駅舎の利活用のレポートです。対象時期は2022年3月9日、前回から今回4月19日までの約40日間ですけれども、18件のイベントが開催されています。また、今回からは年度の端境期となりましたので、冒頭に付録として2021年度、総括のレポートをご報告させていただきます。再築復元からコロナ禍で2年間となりましたが、丸1年間フル開業をしていたのは、この2021年度が初めての年となります。なお、右下にページ数を入れています。

次のページです。数字、データで見る2021年度、1年間の旧国立駅舎運営レポートです。来場者数は、累計41万2,767人。コロナ禍ながら40万人を超えました。1日当たりの平均で1,162人。1日当たりの最多来館者数は今回の報告対象時期にあたり、3月27日日曜日に3,536人という来館者を迎えました。また、旧国立駅舎は定休日を設定していませんので、年間357日営業して、うち79.3%に当たる年間283日において、通常営業に加え、何らかのイベント利用がされました。イベント件数は、累計なんと100件になりまして、これら大半は旧駅舎の主催ではありませんので、旧駅舎以外にまちの魅力の主催者、約100件分の主催者を掘り起こしたという言い方もできます。またレギュラーの人気プログラムとして定着している、旧駅舎版のストリートピアノ、プレイピアノですが、年間延べ2,103人が参加していただきました。用意した演奏機会の78%が利用され、加えてまちの魅力発信拠点等、まちの回遊性につなげる、まちのみどころ案内業務、右側上のほうの緑の字、年間728件案内させていただきました。新規の短期のセレクト販売

するアンテナショップ業務では、全102点を展示販売し、年間売り上げは597万円。館内のチラシの配架などを指す、館内プロモーションの取扱件数は年271件。屋内、屋外のサイネージで提出して、発信したまちのイベント情報は累計220件。そして、旧駅舎の公式ツイッターからの情報発信は、年1,600件になりました。もはや異常な数字です。

次のページです。再築復元から2年間で成し遂げたことを、6点ほどのポイントに整理して評価させていただきます。一つ目は左上から、年41万人が来訪し、にぎわいを生む公共施設を生み出した。二つ目は、年100件のイベントが開催され、270件の館内プロモーション、1,600件のSNS発信を伴うまちの魅力発信拠点を体現するスペースメディアを生み出した。三つ目は年間700件のまち案内、220件の市内イベント情報発信によって、まちの回遊性を促す拠点を展開できた。四つ目は年間357日営業し、朝7時から10時まで開いている駅前まちなかのラウンジを運営できた。五つ目はまちの歴史を後世に伝える有形文化財を使える文化財にした。六つ目は年間312日間、延べ2,100人が参加するプレイピアノを代表例として、文化芸術のまちを象徴するサテライトセンターを生み出した。以上6点の利活用における価値の創出を成果として報告します。

次のページです、3ページ。今回の対象期間の日別の「来館者数」、「売上」「トピックス」の相関を整理したシートです。棒グラフが来館者数、水色が平日、オレンジが土日祝日、折れ線グラフが物販売上推移です。灰色矢印の3月21日までは、実は東京都のまん延防止措置期間でした。この終了を境に桜の開花と相まって、来館者数が急増しているのが見てとれます。3月27日日曜日が年間最多の3,536人、4月2日の次の土曜日とともにイベント開催と桜の開花が相まって、平均の倍となる来館者数をこの時期はお迎えしました。逆に、広間を使用したイベントの開催がなくなると、来館者数も急に平均以下に落ち着く相関関係が見てとれます。

次のページです、4ページ。旧駅舎は広間、展示室、まち案内所としての役割の通常運営に加え、同じ空間スペースのイベント、及び館内プロモーションとして間貸しし、まちの魅力発信拠点として二刀流の活用を推進してまいりました。今回もイベント18件の利活用事例をレポート報告します。以上です。

5ページ。レギュラーで毎月、屋外スペースをご使用いただいているソフトバンク国立様です。今回の対象時期である3月、4月ともに月当たり14日間のご利用を頂いており、貴重な歳入源となっております。スマホ相談所です。

次のページです。そのソフトバンク様が呼び水となって、同業の楽天モバイル様も初利用。3日間連続でした。ソフトバンクと楽天モバイルが横並びで同日出店する日をコーディネートして、ワンストップスマホ相談所として盛り上げました。同日1か所で、2大キャリアサービスをお客様が比較検討できるという、お客様視点での意味合いです。

次のページです。楽天を通じて、加えてau国立ショップ様も今回初登場しました。桜のトップシーズンに合わせて、大学通り沿いの実店舗に加えて、他社の顧客とのコンタクトポイントづくりの意味があるということで、駅舎の空きスペースをご利用いただきました。

次のページです、8ページ。変わって、国立市富士見通りのグランドリユースショップ、シシィ・ジャポンさんを主体とする、くにたちエコプロジェクトによるイベント利用、ワンストップくにたち買取相談所。シシィ・ジャポンさんの事業領域であるブランド品の買取りに加え、古本、着物、古美術、毛皮、家具、ピアノまで国立市内の事業者7社と相互連携して、一括して買取相談に応じるネットイベント。3月、4月それぞれ1回ずつ行いました。数こそ多くないものの、実家のタンスを丸

ごと買取り相談など、確かな手応えをつかんでいました。

次のページです、9ページ。駅前のブランコ通りにあるアイスクリームショップ「もうもう広場」で繰り広げられるレギュラージャズライブ、くにまちショートジャズライブのプログラムPRイベント、くにまちジャズショーケースライブ。旧駅舎での土曜日午前の一発ライブで、この月からゴールデンウィークまで続く、レギュラーライブのスケジュールの見どころを認識してもらうプロモーションイベントでした。大きな反響をつかみました。

次のページです、10ページ。旧国立駅舎の東西広場の整備基本方針に対して、広く市民の意見を募るパブリックコメント。この事業に関連し、駅舎展示室内に期間限定で設けたのが、パブリックコメントROOM。座りながらゆったりと駅前まちづくりの資料を閲覧し、ご意見の記入・投函を可能とするスペースでした。

次のページです、11ページ。桜の季節に街中コンサートと題した、くにたちピアノデー。国立市旭通り中央会、会長は旧駅舎のピアノを納入してくれたムサシ楽器さんですが、桜の開花ピークとなる3月27日日曜日をメインとした、街中イベントとして企画してくださいました。右に書いてあるのが、ジェイコムさんのつながるニュースのテレビパブリシティから。センター会場となる旧駅舎に加えて、①旭通り中央の屋外特設会場、②ジュエリーショップハッセキ横の桜の木の下の特設スペース、③旭通りムサシ楽器本店内の3か所に急遽、駅舎と同じドイツ・シンメルブランドの全てタイプの違うストリートピアノが登場する1日になりました。

次のページです。くにたちピアノデーのメインとなる27日は、この日のみ街中に登場した3か所のストリートピアノに加え、旧駅舎を加えた4か所を巡るスタンプラリーも開催しました。4か所のスタンプを集めれば、参加店で利用可能な500円のお買い物券と、街中の商業者を巻き込んで、主催者の予想以上の利用につながり、うれしい悲鳴とのご報告を頂きました。

次のページです。くにたちピアノデーの2日間、旧駅舎のプレイピアノでは、演奏時間を大幅拡大するプレイピアノデーを連動して展開しました。テーマは“今どんな気分”と投げかけ、写真にある春曲メドレーをはじめ、多くの方にピアノ演奏を介したコミュニケーションに参加いただき、楽しんでおられました。

次のページです。14ページ。くにたちピアノデーの最終日は、4か所のピアノをお客様が回遊するサーキットライブを各所で開催。お客様自身がストリートピアノを演奏できるのはもちろん、総勢7組13人のゲストアーティストがライブ参加し、楽しんでいただく試みでした。旧駅舎ではIPS合唱団、バイオリニストの鎌田さんとピアノの松川さん、そして盲目のピアニスト、梯さんのクロージングライブで幕を閉じました。この日が2021年度年間最高来館者数3,536人を記録した日となりました。

次のページです。15ページ。大学通りの桜のライトアップ期間と連動し、旧国立駅舎の桜カラーライトアップを展開しました。白から薄いペールピンクカラーへとグラデーションで変化する特別なライトアップ、4月10日まで開催しました。

次のページです。16ページ。新年度と旧年度をまたぐ3月28日から4月3日の1週間は、旧国立駅舎再築復元の2周年ウィークとして展開しました。様々なイベントをこの期間に集約しました。第1弾は100インチでみんなで見よう、「午前11時の映画祭」と題し、毎日午前11時から約20分間の映画を上映しました。映画といっても、通常、展示室の垂直プロジェクターで上映している素材を、“くにたち駅はじまり物語”とタイトル刷新し、広場で100インチスクリーンで上映しました。

市外からも訪れる方が多いこの時期に、来館する多くのお客様に旧駅舎とくにたちのまちのユニークな歴史をお伝えする、効果的なイベントとなりました。

次のページです。続いて、再築復元2周年ウィークの第2弾イベントは青野正展。1926年、大正15年の創建当時に使われ、再築時には使われなかった一部の古いレールを彫刻家が引き取り、鉄骨アート作品としてよみがえらせた作品の展示イベント。立川神保町とギャラリーを展示巡回する中、こちらからオファーを出し、旧駅舎での2周年企画として展示誘致に成功しました。先に紹介した午前11時の映画祭は、これらのレールアート作品を眺めながら、約100年の旧駅舎の歴史ドキュメンタリーを鑑賞するという、おつな空間を実現。また、展示最終日には神保町のギャラリーのオーナー、国立市内でこの作品展示を支援する明窓浄机館の館長を加えた、3名によるトークショーで2周年ウィークに花を添えました。

下のページです、18ページ。再築復元2周年ウィークの第3弾イベントは、プレイピアノウィーク。レギュラーで1日2時間のプレイピアノの演奏時間を大幅拡大するスペシャルデー、プレイピアノデーを7日間連続で開催する、初のプレイピアノウィークとして行いました。「2度目の開花」をテーマに選曲、演奏を楽しんでいただき、桜の開花シーズンと相まって初めて市外から旧駅舎を訪れるお客様も多い中、ピアノのBGMで粋な待ち合わせを演出し、多くの思い出づくりに貢献したと自負しております。

次のページです。19ページ。ほかにも再築復元2周年ウィークに合わせ、連動開催したのが、くにたち桜守ギャラリー。国立市内の並木を守り育てるまちづくり活動、くにたち桜守の知る人ぞ知る活動の全体像をパネル展で紹介。そして会期中には、団体代表の大谷さんによる、大学通りの桜並木のガイドアンドウォークイベントを開催。桜守さんならではの知見を知ることができるとともに、木の幹の周囲を一緒に測定するなど、特別な体験機会としても喜んでいただきました。

次のページです。先のイベントとは別に、国立市富士見通りのブランドリユースショップ、シシィ・ジャポンさんの主催とする「くにたちエコプロジェクト」による別のイベント開催、くじら市チャリティバザー。ブランド品の買い付け時に、値段がつかなかった一部のものを、持ち込みのお客様が廃棄するのではなくて、寄付したいという趣旨で集めた、約100点を全て1,000円以下のチャリティー目的で販売するバザーがくじら市。ケーブルテレビJCOMの全国つながるニュースでも事前にご紹介いただきました。初回はシシィ・ジャポン実店舗で、2回目を旧駅舎で開催を希望され、イベントコーディネートしました。今回は国連UNHCR協会を通じ、ウクライナ難民支援に充てることを決め、開催。わずか2時間の、いわばフラッシュバザーでしたが、急遽約1万7,000円の寄付成果を実現しました。

次のページです。21ページ。新年度を迎えたばかりの国立で、一橋大学体育会応援部と旧駅舎が協力。応援部の「コール」であなたの市民生活を応援しますと題した、一橋大学エイプリルエール。

「フレイ、フレイ」に続いて、お名前や抱負となるフレーズを演舞パフォーマンス。右上の写真でもお分かりのように、ぴかぴかの1年生へのエールや、遠く離れた息子さんへのエールを希望し、動画に収める国立のお母さんや、活動団体名のエールを動画で収録、投稿するスタッフの方々など、多様な人々へのエールでまちがつながる素敵な2時間となりました。今どきの動画投稿カルチャーゆえ、多くの記録は現在ネットにアップされているほか、東京新聞さんにも取り上げていただきました。毎年恒例のイベントになるかもしれません。冒頭には駅舎の再築2周年を記念するエールを広場でいただきました。

下の22ページです。武蔵小金井、東小金井、武蔵境、吉祥寺、高円寺、中野を拠点に、人、街、アートをつなぐフェスティバルと題して、昨年初めて開催された中央線芸術祭の2022年のスタートアップイベントを、旧国立駅舎で初めて開催。参加型アートの「ことばの木の花」、オープンダイアログ（対話）ぼとことば、ミニコンサート、ミニシアター上映など、多様なプログラムを5日間で展開。オープンダイアログのゲストとなったのは、国立市在住の振付家で、ダンサーの砂連尾さんです。

次のページです。23ページ。女性だけの30分フィットネス、サーキットトレーニングの元祖、カーブスさんが旧国立駅舎に初登場。2分で筋力年齢チェック、5分で血管年齢、3分で姿勢チェックからなるプチ健康フェアを屋外スペースで開催。狙ったとおりのお客様とのコンタクトを実現し、イベント参加人数、お店への体験来店を予約する人数など、成果指標にも大いに満足いたしました。また、相談時から内容的にデッキ2のスペースを強くこちらで推奨させていただき、こちらのスペース選択にも満足をいたしました次第です。

最後、24ページ。トピックスは国立市が発行する新書シリーズ「国立新書」第2号。「旧国立駅舎—古くて新しいまちのシンボル—」が発売されました。当方では第5章、これからの旧国立駅舎の章を担当させていただきました。利活用と実績、ブランディングの考え方、スペースメディアの定義、イベント活用ケーススタディまでを紹介する構成になっております。

以上、3月9日から4月19日第10弾の旧国立駅舎利活用レポートでした。

○鈴木会長 中身がものすごく充実していてびっくりしました。皆さん、何か感想とか意見とかありますか。

○儀部委員 イベントの実績がすごいと思うのですが、一般などに向けてこういった実績を紹介する場というのはあるのですか。

○事務局 この運営連絡会の議事録ができたタイミングで、このレポートもデジタルデータとしてアップされておりまして、そのときに旧駅舎のツイッターで一部抜粋したり、そこに上がったよという告知をしたりしていますが、もっと告知してもいいかもしれないなどは思っております。

○儀部委員 その場合に内容というよりも、よりいい印象を持ってもらえるかなと私が思うのが、ちょっと辛口のコメントになるのですけれども、今回のプレゼンで商用利用が入っています。それで、その後に他のイベントの紹介が続くのですけれども、やはり旧国立駅舎の役割を考えると、まず商用利用から入るのではなくて、そのほかのいろいろな人が関わっているということから入ったほうが、得なのかなという気がするのです。仮に商用利用がこういった大手通信社などではなくて、国立の商店街などが何かの形で使ったのだったならば、それが地元のためになっているというのはよく分かるのですけれども。今のその資料の作成のしかただとむしろ損なような気がして。

○事務局 ありがとうございます。現状の資料は時系列に準じたような見せ方になっているので、アドバイス頂いた点は年間で見せるとか、成果全体を見せるみたいなどころでは考慮すべきポイントだと拝聴しました。

○鈴木会長 もともと旧駅舎でスマホ相談できるというのが、高齢の方とかスマホに慣れない方が気軽に相談できるような場所を提供するという意図があったような記憶があります。ですので、そういう実績ももしかしたら、どういう方が今回来たなど、示せたりすると、彼らにとって商用利用けれども、市民の皆さんのためになってますというメッセージになると思いました。

○事務局 以前、まちの振興課という庁舎内の組織と連動して、キャッシュレス決済Pay Payを

推進するキャンペーンを商業者と連携して実施したときに、その相談窓口としてデジタルデバイド対策として機能したというところもご指摘どおりありました。

○鈴木会長 デジタルの議論でも、必ず商用利用や収益事業の場合には、何かただ儲けているだけではないという論理をつくったほうがいいのか、分かるようにしたほうがいいのかと思います。別件の感想ですけれども、旭通りのピアノイベントは、きっと旧駅舎でやっているからつなげようという発想でやってくださったのでしょうし、そういう旧駅舎で起きていることをまちにつなげていこうということは、実現していて素晴らしいなと思いました。それから本学の應援部がすごく面白そうで、すごく地元の人も喜んでくれました。

○事務局 すごく盛り上がりました。

○鈴木会長 いいアイデアですよ。動画で離れた息子さんに届けることができるなどね。こういったことも踏まえながら後で皆さんとお話進めていければと思います。

次に参ります。旧国立駅舎の検討についてとなっております。では外立さん、お願いします。

○事務局 それでは、資料2-1、旧国立駅舎東西広場等整備基本方針（素案）におけるパブリックコメントと市長タウンミーティングの実績報告という資料を御覧ください。

前回の会議では、こちらの基本方針（素案）をご説明させていただきまして、その後1ページをめぐっていただきまして、市民の方の声、パブリックコメントをとりました。3月22日から4月12日までとった結果、22人の方から合計23件のご意見を頂きました。様々な意見があったのですが、やはり多かったのはこういう広場になったらいいなと、デザインに関するご意見や、池に噴水をつけてほしいとか、道路の舗装はこういう方向にしてほしいとか、かなり具体的なお意見を頂きました。その意見を広場整備方針に反映できるものと、それと今後、……誰でも応募できるデザインコンペを進めようと思っていますので、そういうところで、プロセスの中で決めていくようなご意見や、既に方針に記載があるような内容のもの、あとこの広場整備以外に、ロータリーのことの車の動線だったりとか、周囲との環境の調和とか、計画を今後検討を進めるべきもの、そういった形で整理をした次第でございます。

ページをめぐっていただきまして、パブリックコメントで頂いた主なご意見を記載しております。東西広場の定義に関するのと、具体的に素案でこういう形に変えたらどうですかというご意見だったりとか、JRの一部、をもう少し広げてほしいというご意見や、東西広場の路面の舗装はピンコロ石、ヨーロッパで古くから歩道などで使用されてきた御影石の形で保存したらどうでしょうというお話だったりとか、市外からの来訪者に東西広場を待ち合わせの場所にしてほしいと。この方のご意見の中では、国立に駅を降りたときに、いろいろな方が同窓会や高齢の方などで、ここを待ち合わせの場所にして、そこからお食事したりとか、そういうようなことを見受けられると。この広場を市外から来る方が待ち合わせで使っていただいて、そこからいろいろなお店に行っていたらいいような、待ち合わせの場所を東西広場につくってほしいというご意見でございました。

また、環境に配慮した広場にしてほしいなどや、以前、西側の広場にありました寒桜を復元してほしい。あと、国立駅前の騒音ということでご意見を頂いたのですが、政治活動の音やマイクの演説の音がかなり騒音として気になるというところで、その騒音対策をしてほしいというご意見でございました。それと、広場に電車を1台寄贈してほしいなど、そういうようなご意見があったり、様々なご意見をパブリックコメントで頂いたところでございます。

また、2ページ目で円形公園に関することでも、円形公園をもう少しマウントにして、そこから景

色が眺められるような山の形にしてほしいというご意見があったりとか、親水空間ではなく、水禽舎の構造物を復元してはどうかであったりとか、もしくは池や親水空間に関しては「できれば」程度の記載でもいいのではないかというご意見、あと円形公園に花時計を設置してほしいというご意見、様々ございました。

次ページをおめくりください。そのほか、市長タウンミーティングというもの、全4回です。場所は北市民プラザ、駅前の市民プラザ、国立市役所、南市民プラザで実施いたしまして、合計31名の方のご参加を頂きました。そこで約1時間程度、市民の方と市長と直接、広場に関する意見交換を行った形でございます。

最後のページですが、市長のタウンミーティングでも様々なご意見を頂きました。東西広場に関することや円形公園に関すること、またこれ以外のご意見も頂きまして、東西広場ですとイベントのために水道や電気設備をそろえてほしいで、これから50年、100年耐えられる駅前空間とするために、バス停、タクシー乗り場の前にキャノピー、屋根ですが、雨に濡れないように設置してほしいというお話がありました。一方で、そういう屋根をつくらずに自然な太陽を与えられるような広場にしたい、建造物を建てるのはやめてほしいというご意見がありました。

今、駅舎でもそうですけれども、備品や広場で使うテントや椅子、バンカーがイベントのときに貸し出すものがなかなか置く場所がないと。今後広場でイベントをやるとなれば、そういう駅舎に寄った統一したデザインで、防災のテントとか、そういうようなテントではなく、ちゃんとしたテントをこの広場で備品管理ができるような、ほかの場所を確保してほしいというご意見がありました。

あと、円形公園の中では池の議論が多くて、池を残してほしい方と池はやはりイベントなどするときに必要なのではないかという意見だったりとか、せっかく円形公園を整備するのであれば、ちゃんとして安全に往来できるように信号を設置してほしいなど、そういうご意見を頂いたところでございます。

パブリックコメント、あとタウンミーティングの意見を踏まえまして、資料2-2になりますが、このブルーの方針です。前回の方針（素案）からまだ方針（案）の中でも、ただ、それは（素案）の修正案という形でお出ししまして、この後、ここでまた、連絡会の委員の皆さんのご意見や、庁内の検討委員会ともう一度これを諮りまして、再度この内容をブラッシュアップしまして、最後に6月に議会に報告いたしまして、方針を定めていくというスケジュールを今考えているところでございます。先ほどのパブリックコメント、タウンミーティングを通しまして、修正した箇所に関しまして、ピンクで今塗ってございます。修正の変更点について、簡単にご説明したいと思います。

まず方針の題名のほうですが、東西広場等ということで、ひとくくりにして基本方針をまとめたのですが、今回、東西広場・円形公園整備基本方針に題名を変えてございます。また、前回緑の形でしたが、よりこの広場整備方針を多くの方に手にとっていただいて、もう少しポップな形ということで、国立のブルーの空をイメージした配色に修正しています。この表の色を変えたことによって、中のほうの文字や色も全般的に変更いたしまして、視覚的により見やすい形に変更してございます。絵や図面に関しましても、前回の形より全般的に整えた形でございます。

1ページ目をおめくりください。こちらが初めにというところで、前回から変更点で、整備の基本方針の目的に関しまして、この方針案を初めて読む人にとって、この（素案）が何を意味するのかということで、（素案）のときには3ページにあったものをトップに持ってきてございます。

3ページ目をおめくりください。国立駅前の活用に向けた新たな取組と市民の思いの把握というこ

とで、旧国立駅舎運営連絡会のことが記載してあったのですが、成果など連絡会のことを唐突に書いてあったところがありましたので、こちらをもう少し丁寧な形で、連絡会がこれまでどう行ってきたか、この広場整備方針にどう意見交換してきたかというところをもう少し丁寧に記載したところがございます。

あと下段のところ、ソーシャルインクルージョンという言葉を手軽に追記してございます。

4ページ目をお開きください。整備基本方針の対象範囲の文言のところ、これまでの記載からもう少し丁寧な形でこちらの記載を修正してございます。

隣の5ページでございます。前回このページはなかったのですが、昨年11月に3,000人の方にアンケート調査を実施した経過がございますので、そちらのアンケートの結果に関して追記をさせていただきます。

7ページ目をお開きください。こちらのほうも多少変更しております、「まちの視点」に関してです。国立の拠点となる広場というところで、前回の記載だと、周辺景観と一体となったまちの拠点という記載をしてたのですが、国立市の広い地域による影響、効果をもたらすことを目指しているといったメッセージをもっと具体的に伝わるように、国立駅そのものとして駅舎東西広場が、大学通りなどを通じて、市内各地をつなぐメインの玄関口だったり、人や情報を展開するための拠点という意味合いを持たせたほうがよいのではないかということで、こちらのほうの記載をピンクのところ、まちの視点を変更してございます。

「広場の視点」のところ、「市民が誇りを感じ誰もがくつろげる広場に」という記載があったのですが、誇りというところがちょっと重く感じるという意見がございまして、「市民が自慢できる誰もがくつろげる広場」ということで変更させていただきます。

それとあと、「活動の視点」で、「動と静」という表記を前回の方針でしていたのですが、そのところ「動と静」というのが分かりづらいということだったので、こちら「多様な活動が生まれる」ということで、「動と静」を削除させていただきました。

9ページ目をお開きください。先ほど広場の視点というところで、市民が自慢でき、愛着が持てるという空間にしようということで、一部文言を修正しています。

10ページ目をお開きください。先ほどの市長タウンミーティングでの話の中でも出ていましたが、待ち合わせの場所という形の意味合いを方針に載せてほしいというご意見がありましたので、ピンクの、多様な使い方が緩やかにつながる空間を目指すというところに、「東西広場に待ち合わせをしたり」ということで、文言を追加させていただきました。

11ページ目を御覧ください。ピンクのところの施設に関しまして、トイレの表記に関してです。こちら外部でトイレの環境を今整備している中で、令和4年8月末に、今ある公衆トイレのところを支障物の撤去のために閉鎖ということで予定をしております。トイレができるのが広場整備完成後となると、約3年程度トイレがない状態が予想されるので、少しでも今後広場の整備の中で設置を早めたいということで、前回だと「東西広場整備後、整備の可能性がある」という曖昧な表記をしていましたので、ここの文言を整理しまして、このように変更いたしました。

13ページ目を御覧ください。既存施設の円形公園にある時計でございます。こちらのほう場合によって、状態によっては撤去しますという形で記載をしていましたが、この時計に関して、改めて、1979年に東京国立ロータリークラブ創立10周年に寄贈された、関敏さんのデザインの作品であるということもございまして、改めて寄贈された方と再度調整したところで、時計自体というよりは



石の彫刻なのですが、そちらのほうは大切に保管していきたいと書いてございます。ただ、時計の設置場所に関しましては眺望確保のため、移設を含めて広場か円形公園、もしくはロータリーであったりとか、場所を再度検討しますという表記に変えさせていただいてございます。

14ページ目を御覧ください。下段のほう、「国立駅北口との一体的な活動」で、前回の方針だとどう一体的に活動するかというところが、曖昧な記載がありましたので、下に東西広場と連動したイベントを北口で開催するなど、具体的な形で記載を変更させていただきました。

最後、18ページ目です。東西広場に関しまして、東西広場等活用というところに米印が1、2とあるのですが、なかなか米印のところの意味合いが下のほうに注釈で出ていて、なかなか分かりづらいというご意見がありましたので、こちらに関してまはラインを引いて目立つ形にして修正を加えさせていただきました。整備方針に関して、今いただいているパブリックコメント、タウンミーティングのご意見の中で、整備に関わることで修正できることを事務局のところで整備いたしまして、今回このような形で修正させていただいたところでございます。よろしく申し上げます。以上でございます。

○鈴木会長 ありがとうございます。いろいろな方の意見を取り入れてちょっとずつよくなっていく感じがします。皆さん、何かお気づきの点やご不明点などございますか。

○事務局 先ほども申し上げまして、まだこれ、固めている最中でございます。御覧になったところで、もう少しこうしたほうがいいのではないかとか、こういう形にしたらこの方針がより分かりやすくなるという視点もあるかと思っておりますので、本日というよりはメールでも結構ですので、外立宛にいただければ、こちらの修正案でまた再度検討させていただきたいと思っておりますので、何とぞよろしくお願いいたします。

○鈴木会長 よろしく願いいたします。それでは、ここからが本番というか、皆様にご活躍いただきたいところなのですが、今日皆様にお話ししたいことですが、今年度の連絡会4回、今日で4分の1が終わってしまうのですけれども、4回の初回ということで、皆様の任期でいうと、2年任期の2年目ということになります。今年度こんなことを連絡会としては実現できるというなど、皆さん自身の手によって実現するというだけでもいいですし、駅舎を中心にこんなことが展開されるとよくて、そのためにどういう工夫ができるかやアイデアなどでもいいです。今年1年でできることのイメージ作りをやってみたいと思います。

その準備として、資料としては2つ用意していただいている、1つは市内のイベントについてということで資料3があります。これはコロナ前に市内で行われていたイベントのリストだそうです。

○事務局 今決まっているのは、ガレッジセールとLINKくにたちの任意イベントというのを聞いています。あとに関しましては、コロナの影響もあって、まだ実質、開催というところはめどがたっていないと聞いています。

○鈴木会長 これは、何かお気づきの点があれば、その都度、お話ししたいということの資料です。

もう一つは連絡会での主にやってきたことをリスト化していただいています。

下から見ていきますと、最初の令和元年はまだ開業前のときに話し合いを始めていますけれども、まずオープニングイベントを準備しましょうみたいなことをやっていて、結局、オープニングイベントは中止になりました。それで、連絡会は実際何をするのか、実際、旧駅舎はどういうように利用されていますねということを2回目に話をし、3回目に今の机の上にもありますけれども、1年後、

3年後、10年後のイメージをつくってみましょうということで、まちの姿を、旧駅舎を中心にどんなことが起きているまちがいいのかということで、イメージをつくるということをやってきました。

4回目が中止になってしまったのですが、2年目は、私は思い出しながら言っていますが、なんと前半は夏は全く動けずということでした。後半、10月から動き始めて、多分1回目は思い出すことに使ったのと、恐らくもう駅舎が完成して始まってから半年で、それなりに運用をしてくださっていたご報告をしていただいて、市民の皆さんとのやり取り、事前相談などのやり方について、お手伝いできることはないかということ話を話した形です。

2回目に皆さん、これはすごく私も記憶にしっかりありますけれども、ロールプレイという形で、事前相談をどのように運営されているかを見せていただいて、皆さんの提案に基づいてやってみるということをしていただきました。これやったおかげというか、実際にそのときにロールプレイのためにつくった提案を基に、実際のイベントにくださった方もいらっしゃるということをよく覚えております。その後から、旧駅舎周辺の検討についてという文言が出てきますけれども、東西広場のアンケート結果などを教えていただくというのが、令和3年度の1回目だったということのようです。

令和3年度は11月に東西の広場を開けてもらって、イベントをするのが決まっていたので、それに向けて何ができますかという検討を頂いて、2つのグループに結局別れて検討しました。食のイベントとスポーツのイベントといいながら、最終的にはまちの皆さんにいろいろな使い方を考えてもらうウォールメッセージイベントが、その年の前半のメインのものだったということです。後半は基本方針のほうをしっかりと見ていただくということが多かったと思います。

前回は任期最後の年が始まるに向けて、どういことを連絡会としては目指してきたのかを思い出していきましょうか。あるいはこの2年間、どんなことをやってきたかを確認した上で、これから何ができるかを説明してみようということをやってきました。

ここからは皆さんの話をさせていただきたいのですが、今日のゴールは今、目の前に前回話した紙が2グループ分コピーしたものと、模造紙があると思います。この1年後、3年後、10年後というと、もう3年後というのが今年度に当たるということです。これは1つの目安ですが、今日のゴールは3年目の1年はどんな感じになるのかということ、何となくみんな、こんなようになったら楽しいなということ、では何が私たちにできるかということ、思い描いて、実際に1年間の絵にさせていただくことができれば、楽しいのではないかと思います。

時間に追われるようにいろいろなことをやってきたので、そもそも委員の皆さんが何がやりたくて連絡会に関わってくださったのかということ、思い出しやすい時間になりたいかなと思います。テーブルの端っこのほうか真ん中のほうに付箋があると思いますので、皆さんお一人お一人、思い出す時間ということでこのようなアイデアを持っていたはずだったことを付箋に書いて、どんどんためていくということ、5分間ぐらいやっていただけたらいいかと思います。よろしいですか。ではちょっとやってみてください。お願いいたします。

(中断)

○鈴木会長 すみません、そろそろ5分たちましたので、そうしたら書きながら大丈夫ですが、それぞれ1人1人では回しきれないと思ったので、藤本さんと落合さんにグループのファシリテーターをお願いしています。まずどんな意見が出たのか、皆さんでシェアしていただくという時間をとりたいと思いますので、それぞれのテーブルでお願いいたします。

(中断)

○鈴木会長 では皆さん、前に来ていただいて、グループでの話し合いを全体で共有したいと思いません。では落合さんから、どのような感じになっているか教えてください。

○落合委員 3年目ということで、皆さんがどういう気持ちでやってきたかをまとめてあります。定着、展開、チャレンジという3段階をこれからやっていくべきではないかという話が出たそうで、それを中心に案を出していきました。

定着というのは駅舎を利用して、イベントをやりたいという常連さんをつくる必要があるよねということで、参加者さんのアイデアの吸い上げが大事という話が出ました。実際に参加した人の声を聞いて次につなげていくとか、その人たちを思い切り褒めて次につなげたい、またやりたいと思ってもらえるような機会をつくりたいということで、この連絡会に来ていただくことをしてはどうかという案が出ました。実際に来てもらうのは大変かもしれないので、オンラインもオーケーとか、そういう連絡会の時間内で何かできるといいと思っています。また、いつ何をやっているかというイベントを私たちは分かっていますけれども、一般の人にはなかなか伝わっていない部分かもしれないので、見える化して、いつ行けば、何をやっているかが、分かるようにしてはどうかという話が出ました。それが定着の部分です。

展開はそこから先、もう一段次につなげようという意図で、端境期に当てはめるもの探し。これは例えば、ゴールデンウィークなど混み合う、希望する人がたくさんいる期間ではなくて、あまり駅舎が利用されていない期間に、何をやったらいいかをこちらから展開をするというのはどうかという。例えば、この1週間は高齢者の人のお悩みを解決する期間ですよとか、お母さんたちの悩みを解決する期間ですよという期間にして、団体さんにこちらから声をかけることで化学反応をいざなうとか、団体同士のコラボをしていけたらいいのではないかという話が出ました。

あとは、マニアックな思考の人たち、例えば桐朋高校のオカルト研究会の高校生とか、若い世代だけど、どこでやればいいのか分からない人たちに届くようにして行って、いざなうようなことができたらいと思っています。

3段階目のチャレンジは、コロナ禍なのでイベントもやりづらいというものもあると思うのですが、むしろ東京に旧駅舎があるということが、観光的ないい意味でアピールできるのではないかということもアイデアが出ました。それで、地元商店街の物販はなかなか今は、駅舎でやっていないと思うのですけれども、そこに展開させて行ってはどうかという意見が出ました。

あとは、国立と谷保、矢川というのは、今なかなか切り離されている状況が解決されていないように見えるので、例えばシェアサイクリングの拠点を旧国立駅舎につくったり、臨時くにつこバスをイベント時にだけ出してもらったりなどすることで、交通手段が増えれば、より行き来がしやすくて身近に感じてもらえるのではないかと思います。

円形公園でコンサートもしたいという意見が出たり、これは鈴木さんのアイデアで、掃除をみんなでするときにTシャツをつくろうというアイデアも出ました。

ここが定着、展開、チャレンジのアイデアでした。以上です。

○鈴木会長 一応、Tシャツをつくるというのは佐藤さんのアイデアです。今日、ご欠席なのでいませんけれども、私も賛成しております。それでは次に、藤本さん、お願いします。

○藤本委員 既に旧国立駅舎では、いろいろなことをやっているから、それを定着させたいということと、その中でも今後新しくチャレンジしたいという、両方あるのではないかという話になりました。

木村さんがおっしゃってくれたのですけれども、国立と谷保をつなげるという話ができました。そこから今度膨らませていって、では国立と谷保だけではなくて、いろいろつなげるということがあるのではないかと。

例えば、旧駅舎を中心とした北と南と東と西というのもつなげるということになるし、市内のいろいろなポイントをつなげる、そのときに旧国立駅舎で既にいろいろなことを結構やっていて、それと定着を目指すもの、新しくチャレンジするものをつなげるということと、ひもづけて考えていきました。例えば鈴木さんもおっしゃったような清掃の話、あれも市内のごみ拾いのイベントで、いろいろなところからごみを拾ってきて最後に駅舎のところでゴールみたいにするというのでつなげられる。駅舎をランニングステーションみたいにすると、駅舎を中心として市内を走る形をつくれる。あと、そこで音楽で「がんばれ」とあるのですけれども、和太鼓を叩いてがんばれよと応援するのが入ると、また違う、つながるも出てくる。いろいろなことがつながるといえることができるイベントというのがあるのではないかとということが話に出ました。

その中で今言ったような話が結構新しくチャレンジしてやりたいということですが、あと今までいろいろなことをやっていることを鑑みてなのですから、定着させたいということも結構あるから、チャレンジと言いつつも今後もつなげていこうという話で、例えば駅周辺のイルミネーションでいうと、駅舎だけではなくて円形公園や北口とかも、あの辺一体でイルミネーションをやるということをつなげるということなのですから、それを定着させていきたいという話だとか、あと、ラジオ体操を夏の広場でやると面白いという話があったのですけれども、それももう毎年やるイベントとして定着させたいとか。あと、駅前でもヨガをするイベントも定着を目指していけるものなので、そういうところを定着させることも必要ではないかという話になりました。

ちょっと外れに書いているのですけれども、国立に3つ駅があります。矢川駅と谷保と国立と。その3つもつなげるではないのですけれども、駅舎で何かをすとか、駅そのものをツアーで見るとか、やってみたらいいのではないのかという話もあったので、別立てにしてまとめてみました。

戻るのですけれども、今年1年、大きな目標としては国立、谷保をつなげるとか、いろいろな市内をつなげるというのを大きな目標にして、ではそれで何ができるかというのを考えていく。それを新しくチャレンジして、こういったものをやろうというものと、やったことを定着させていこうというものができるようになれば、今年1年やって、大きな目標に向かっていけるのかなという内容でまとめました。

○鈴木会長 他の皆さんから何か、追加や新たな気づいたことなどないでしょうか。

○中村委員 つなげるということで、1つ、旧駅舎と今の駅舎をつなげる。さっきの映写、映画を投影するという話があったではないですか、今の駅舎の。ボルダリングもそうですけれども、今の駅舎に登ってみるなど。今の駅舎と旧駅舎をつなげるのもありかと。

○鈴木会長 この辺でいろいろ、このメンバーだけではなくて、もっといろいろな人に話を聞いて連絡会に話を吸い上げていくでもいいですし…。そうすると、外立さん、そろそろ次回の答えをやらないと駄目ですね。

○事務局 あと、3回ですか。3回の中で今の国立駅舎と谷保をつなげるという目標があったりとか、それに対する定着するイベントだったり、いろいろな手法があったりということで、あと3回の中でどうのように目標を定めるかということですね。

○鈴木会長 皆さんのやりたいということをイメージができたかと思いますので、今日はお時間も過

ぎているので、終わりにさせていただきます。

次回いきなり人を呼んでくるのを難しいでしょうから、参加した方々に短い簡単なアンケートで、アイデアがありそうな人をピックアップして来てもらうとか、それをつなげてしまうとか、そういう感じではないですか。いきなり人探しは難しいではないですか。だから、やってみて次やりたいような人に、聞くとアイデアが出てくるような気がするのです。メールベースでアンケートというか、探りを入れて候補者を選んで来てもらうなり、オンラインでつなげるというのもありかもしれないです。

○磯前委員 誰を対象にメールするのですか。

○鈴木会長 今までいろいろなイベントに参加された申請者。

○事務局 申請者ですか、それとも参加者。

○鈴木会長 申請者を通じて集めてもらってもいいのではないですか、実際に使った人を。

○事務局 確かにそう考えると、この今回の連絡会の中に、申請者や参加者を呼んだ中でグループ分けみたいな。

○磯前委員 申請者の人たちに、ちょっとご意見を聞きながらやりたいので、よかったら傍聴なのか、ゲスト参加していただくといいかもしれない。

○事務局 生の声を聞きながら。

○宮崎委員 具体的にもイベントやるとなったら、去年散々いろいろとやってきたことが身になって、分科会みたいな感じになるのですかね。連絡会はあと3回だけど、実現に向けてまたみんながオンラインや分科会など。去年の経験は無駄になりません。そういう分科会も含めてやるみたいにする、3回だからといって焦ることもないかもしれません。

○磯前委員 結構みんなの中でもうおぼろげながら、これいけそうみたいなのが出てきたら、そこに向けてそれをやると、今年目標にしてしまってもいいかもしれない。今、いろいろ出てきた理念的なところでつなげるなど、チャレンジなどを含めた中でこれがいいというのが出てきたらそれをやる。

○事務局 それと何となく、何年後か先の定着につながるとなれば、それこそ本当に意味がありますね。まずは問いかけから。

○鈴木会長 皆さん、今日は大変活発にきれいにまとめていただきまして、ありがとうございました。

本当にありがとうございました。事務局からそのほか、連絡などはございますか。

○事務局 次回、また7月頃の開催になろうかと思っておりますので、またその辺日程を調整することと、本日いただいた意見をまとめまして、次回の開催の際には申請された方なのか、参加者なのか、新たな形で傍聴なり、ゲストとして来ていただいて、会をまとめていきたいと思いました。

以上でございます。

○鈴木会長 ありがとうございました。それでは、次回は7月ぐらいですかね。また調整の上、おそろいいただければと思います。本日はありがとうございました。

— 了 —